

R7.12月

治療開始日	治療終了日	期間	所定疾患傷病名	処置等の内容
12月5日	12月10日	6日	尿路感染症	kT38.5℃ 倦怠感 (+) 検尿：亜硝酸 (+) 潜血 (±) 白血球 (±) Dr上申 Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤 6日間投与 Rp)ノフロキサシ(100)3T レバミピド(100)3T / 3×1 経過観察へ
12月10日	12月14日	5日	尿路感染症	kT39.5℃ 検尿：亜硝酸 (-) 潜血 (3+) 白血球 (3+) Dr上申 Dr診察 尿路感染症との診断 抗菌剤・止血剤5日間投与
12月5日	12月8日	4日	肺炎	体熱感あり KT38.2℃ 検尿：亜硝酸(-) 蛋白 (2+) 白血球(2+) Dr診察 肺炎の診断 抗菌剤4日間投与 Rp)ピクシリンS配合 3錠 レバミピド(100) 3錠 / 3×1 解熱時アセトアミノフェン0.4投与 経過観察へ
12月22日	12月26日	5日	蜂窩織炎	KT39.4℃ 顔面紅潮 (+) 体熱感 (+) 右大腿部発赤 (+) Dr診察：蜂窩織炎の診断 抗菌剤5日間投与 Rp)ピクシリンS配合3T レバミピド(100)3T / 3×1 5日分 解熱時アセトアミノフェン0.4投与 経過観察へ
12月24日	12月26日	3日	尿路感染症	血尿 (+) 検尿：亜硝酸(2+) 蛋白(-) 潜血(3+) 白血球(2+) Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤3日間投与 Rp)ノフロキサシ(100)3T/3×1 経過観察へ

R8.1月

治療開始日	治療終了日	期間	所定疾患傷病名	処置等の内容
				対象者なし

R8.2月

治療開始日	治療終了日	期間	所定疾患傷病名	処置等の内容
2月17日	2月19日	3日	尿路感染症 上気道感染	体温38.2℃ 嘔声、湿性咳嗽 (+) 尿検査 亜硝酸 (+) 白血球 (+) Dr診察 尿路感染症及び上気道感染の診断 抗菌剤・鎮咳剤・去痰剤・胃薬3日間投与 Rp) ノフロキサシ(100) 3錠 カルボシステイン (500) 3錠 レスブレン (20) 3錠 レバミピド3錠 解熱剤 アセトアミノフェン0.4g 頓用 経過観察へ
2月10日	2月12日	3日	尿路感染症	尿より血液臭あり 検尿：亜硝酸(+) 蛋白(3+) 潜血(+) 白血球(2+) Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤3日間投与 Rp)ノフロキサシ(100)3T/3×1 経過観察へ
2月17日	2月19日	3日	尿路感染症	排尿時痛度々あり 検尿：亜硝酸(2+) 潜血(2+) 白血球(2+) Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤3日間投与 Rp)ノフロキサシ(100)3T/3×1 経過観察へ
2月24日	2月25日	2日	尿路感染症	血性尿あり 検尿：亜硝酸(-) 蛋白(+) 潜血(3+) 白血球(3+) Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤・止血剤2日間投与 Rp)ノフロキサシ(100)3T トランサミン(250)3T / 3×1 経過観察へ

R8.3月

治療開始日	治療終了日	期間	所定疾患傷病名	処置等の内容
3月18日	3月27日	10日	誤嚥性肺炎	Kt 37.5℃ 痰がらみ.湿性咳嗽 (+) 吸引にて白色〜クリーム色痰多量 Dr診察 聴診にて誤嚥性肺炎の診断 抗生剤ピクシリン配合錠3×1 5日間 その後、クラリスロマイシン (200) 2錠 2×1 5日間投与。
3月23日	3月31日	9日	带状疱疹 (右顔面)	3/23朝、右顔面に発赤疹、疼痛あり Dr.診察 带状疱疹の診断 抗ウイルス剤及び消炎剤、鎮痛剤5日間投与 アシクロビル(400)2錠、コロナール(200)2錠 2×1 (朝・夕) 外用) ビダラビン軟膏塗布 その後、アシクロビル (400) 3錠、3×1に増量、併せて、プレドニゾン (5) 3錠 3×15日間追加投与へ。
3月3日	3月5日	3日	尿路感染症	排尿時痛あり 検尿：亜硝酸(-) 蛋白(-) 潜血(3+)白血球(+) Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤3日間投与 Rp)ノルフロキサシン(100)3T/3×1 経過観察へ
3月12日	3月18日	7日	蜂窩織炎	KT39.7℃ 悪寒戦慄あり 右大腿部外側発赤 Dr診察 蜂窩織炎の診断 抗生剤7日間投与 Rp)ピクシリンS配合錠3T/3×1 経過観察へ
3月27日	3月30日	4日	肺炎	KT38.2℃ 悪寒あり 気管支喘息既往にて、咳込み多い。 Dr診察 肺炎の診断 抗生剤4日間投与 Rp)ピクシリンS配合錠3T/3×1 経過観察へ